

放送大学
栃木同窓会会報

おおるり

発行: 放送大学栃木同窓会
編集: 会報編集委員会
責任者: 会長 須藤 國夫
発行日: 令和3年3月31日

ホームページ <http://hosodaigaku-tochigidosokai.jimdo.com/>

会長あいさつ

皆様いかがお過ごしでしょうか? 栃木同窓会は22年目となりました。現在会員は138名です。小さな規模の同窓会で、全国の同窓会では31番目の会員数となっております。ところで、昨年から新型コロナウイルス感染症が蔓延して経済活動が停滞しております。また、日常生活も活動の自粛を余儀なくされております。比較的年配者の多い同窓会の活動は、中止もしくは自粛せざるを得ない状況であります。

今後、有効なワクチン接種の普及、あるいは治療薬が開発されて、この混乱状況が収束されるまでは、今まで積み上げて来た多様な活動を早期に再開することは望めそうにありません。会員皆様のご健康をお祈り申し上げますと共に、コロナ禍が収束したのちに同窓会活動を積極的に進めて行きたいと思っております。

主な活動

第21回定期総会は令和2年5月17日(日)に宇都宮市の東市民活動センターで開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止にしました。その後、活動停止状態となり現在までほぼ休眠状態となっております。誠に申し訳ございません。

研修旅行: 中止

役員会: 中止

第21回定期総会: 延期

第22回定期総会は、第21回定期総会と合わせて書面総会として開催する予定です。実施方法等は後日ご連絡いたします。

今後はZoom(ズーム)を積極的に活用していきたいと考えております。

また、栃木学習センターも新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、通常だと招待されて祝辞を述べさせていただいておる所ですが、現在入学式や卒業・修了式に招待されない状況です。

学長が変わります

第9代学長に岩永雅也先生が就任されることになりました。副学長には近藤智嗣先生、菊川律子先生、隈部正博先生が就任されることとなります。

岩永新学長は佐賀県出身で、教育社会学、生涯学習がご専門です。



(この原稿は、放送大学同窓会連合会創立30周年記念誌に掲載されたものです。)

同窓会全国化達成について

須藤 國夫

平成29年12月10日に岩手に同窓会が設立されて、ついに同窓会の全国化が達成されました。放送大学の同窓会は平成2年3月に設立されました。当時は関東地区中心の単一同窓会で(旧本部と称されています)、その後支部が9つ結成されました。8年間にわたる活動の後、平成10年4月に大幅な組織の改編があり、9つの支部が独立して各(地域)同窓会となり、相互の連携、協力を図るため同窓会連合会が結成されました。また、卒業祝賀パーティの開催は連合会として行なうことになりました。そして放送大学の全国化に伴い、連合会内に同窓会全国化委員会が設置され、全国の学習センターに同窓会を設立していただくよう支援・協力することとなりました。

その活動等により、平成14年に2倍の18同窓会となり、少し連合会らしくなったと思われまふ。平成17年には3倍の27同窓会となり、ようやく連合会らしくなりました。続いて平成20年に4倍の36同窓会となり、ついに平成22年には5倍の45同窓会となりました。

同窓会設立に関しては、学習センターのご理解とご協力が必要でした。同窓会に理解の深い学習センターでは比較的容易に設立することができました。例えば地区ブロックで、うちの学習センターだけ同窓会がないので是非同窓会を立ち上げてほしいと強い要望のあった所もありました。しかし、うちには学友会があるから同窓会の必要性は感じないと消極的な学習センターもあり、設立が難しい所もありました。いろいろな条件の中でそれぞれの状況に合わせて、全国化担当委員が熱意をもって根気よく働きかけた結果が同窓会設立に結びついたのだと思います。和田さんの働きかけもあってか、石学長の時代から同窓会に対する大学側のご理解が特に高まり、また強力なご支援をいただけるようになったと感じております。最終的には、すべての学習センターにご理解いただき、ご協力していただけたと思っております。関係者の方がたに深く感謝申し上げます。

平成28年の3月に福島学習センターに同窓会が設立されました。残るは岩手学習センターだけとなり、約5年間の活動、支援の結果ようやく岩手同窓会が発足いたしました。同窓会全国化委員会はその役割を果たし解散となりました。長年携わった者として感慨深いものがあります。この辺の経緯は公孫樹49号、50号の記事を参照ください。

委員会活動は前期に須藤および群馬同窓会の鈴木喜代さん、中期に東京足立同窓会の故和田九三さんおよび福井同窓会の山下博さん、後期に再び須藤が主に担当いたしました。資料を送付しただけのところや、質問や疑問について回答して納得していただいたところ、現地に訪問してお願いしたところ、いろいろと直接設立をサポートしたところ等さまざまでした。また、連合会への加入も同時に働きかけ、特に負担金については、質問が多く現況を良く説明して納得していただきました。

なお、山下さんは、和田さんのもとでご自身の職業・資格での人脈ご縁を活かして、西日本地区では大いに活動されました。

岩手同窓会の設立総会に当たって來生学長に祝電をお願いしたところ快く承諾してい

(この原稿は、栃木学習センターの とちの実No. 115に掲載されたものです。)

卒業生からのメッセージ

島田 文子さん (社会と産業コース卒業)

ご入学おめでとうございます。

これから始まる大学の授業や時間の遣り繰りに、不安を感じていらっしゃるかと存じ、僥越ではございますが、何回かの卒業を勝ち取って来たものとして、また再入学の皆様にはつたない勉強方法を、恥を忍んで紹介させていただきます。

前コース、前々コースと高等学校以来、生涯学ぶことはないだろうと思っていた数学や物理といった理数系教材を前に、悪戦苦闘が思いやられ非常に悩ましく思っておりました。何しろ数学といったら、数学にもなっていない算数でして、概数(おおよその数)で生きており、何%オフとはいくらくらい安くなるのかという体たらくでした。ましてや当時は確か大学に入ってから学んだ新手の集合という考え方や見たこともない記号。どうしようと暗澹たる思いにかられておりました。物理にいたっては、慣性の法則で立ち止まったままでしたので、その不安たるや進級できそうもないなあと考える程でした。でも授業を受け試験勉強を経ると、ニュートン力学だ、アインシュタインによる時空の幾何学と計量などと書き込んでいる自分が、居りました。おかげさまで公共放送の「コズミックフロント」という番組も、理解をもって楽しく観ることが出来る様になっていたのです。まったく『何ということでしょう。』です。

しかしながら、100%の理解は半年間の授業では、無理です。教えて下さる先生方は、何年もの研究研鑽をされたうえでのことなので。先生から、私達に託されたものは、研究の道筋であり、何をどう調べれば回答を得られるか、資料を入手することが出来るのか、という方法論であるのです。このことが学習を続ける最大の利点であります。学徒に知識のあらゆる門戸は開かれているのです。

さて勉強方法ですが、最初のころは、印刷教材を読み、アンダーラインを引いていたのですが、ある時印刷教材は全て重要なことが書いてあるのだ、と気付きました。気付いた時点で、アンダーラインの意味が無くなりました。そして授業の時、先生が特に理解して欲しい所で、教材項目に書かれていることを、よりまとめて「フリップ」として出して下さることに着目しました。フリップが出るタイミングを教材のページに鉛筆でマークをし、再度 DVD やネットを利用し、ストップとスタートをくり返ししながら、メモ書きをします。その後清書をし、マークをした所へ貼る、最後に教材を読み通しながらフリップを確認するという方法で、苦手意識の強かった理数系教材がクリアできました。この印刷教材は、今日は「おめでとうカフェ」※に置いておきます。自分の頭の中を覗かれる様で恥ずかしいのですが、その教材をクリアした証として、宝ものでありこれからの学びの道標です。ご覧下さればと思います。(※「おめでとうカフェ」は10月6日(日)のみ開催しました。)

現役で働いている方々は、時間が取れるかとお悩みのことと思います。現役と退職後と両方を経験したことで、言えることは「時間は作るもの」であるということです。後おくりしない、少しの時間でも無駄にしない(たとえ小間切れの時間でも)ということです。弛まず、遅れずです。人はたつぷりの時間がとれると思うと、上手に時間が使えません。時間は、決意を持って作り出さなければ出来ないということだと思えます。

知らないことを知る喜びは、何にもましての快感です。この快感のために今日6コース目に入学しました。机を並べての学習はありませんが、この知識の海に、皆様と一緒に、今日この時船出していけることは幸いです。苦労はそれぞれですが、共に頑張りましょう。

島田文子さんは通算卒業回数数が5回となりました。あと1回で名誉学生の称号を得られます。見習いたいものですね。



2ページより続く ⇒

ただき感謝した次第です。(学長からの祝電は岩手が最初で最後です。)その折、学長表彰をしたい旨伝えられ光栄なことだと感激いたしました。このことは平成30年5月の連合会の総会時に、学長より表彰され現実となりました。同窓会として最高の名誉であり、私と和田さんを初め、各同窓会設立の推進に携わった者すべての方がたに与えられたものと考えております。

最後に、皆さま！全国化達成まで長い間ご協力いただき誠にありがとうございました。

連合会

第23回総会が令和2年6月20日(土)に書面総会にて開催されました。議決権行使書提出：47同窓会、委任状提出：4同窓会にて当日のWeb(ウェブ)会議にて承認が確認されました。新会長に石川同窓会の北野敏夫さん、副会長に群馬の下田清美さんと茨城の矢野正義さんが選出されました。

令和2年10月には同窓会連合会創立30周年記念誌が発行されました。

各同窓会の会員数

同窓会	会員数
北海道同窓会	220名
旭川同窓会	40名
青森同窓会	42名
岩手同窓会	28名
宮城同窓会	216名
秋田同窓会	122名
山形同窓会	79名
福島同窓会	62名
茨城学友同窓会	146名
栃木同窓会	138名
群馬同窓会	630名
埼玉同窓会	924名
千葉同窓会	1,049名
東京学友同窓会	1,140名
東京足立学友同窓会	401名
東京多摩同窓会	250名
神奈川同窓会	590名
新潟同窓会	240名
富山同窓会	185名
石川同窓会	140名
福井同窓会	99名
山梨同窓会	147名
長野同窓会	180名
岐阜同窓会	102名
静岡同窓会	120名
浜松同窓会	94名

51同窓会

同窓会	会員数
愛知学友同窓会	395名
三重学友同窓会	196名
滋賀学友同窓会	151名
京都同窓会	180名
大阪学友同窓会	522名
兵庫学友同窓会	302名
奈良同窓会	120名
和歌山同窓会	27名
鳥取同窓会	68名
島根同窓会	90名
岡山同窓会	188名
広島同窓会	153名
山口学友同窓会	609名
徳島同窓会	63名
香川同窓会	185名
愛媛同窓会	127名
高知学友同窓会	106名
福岡同窓会	257名
佐賀同窓会	153名
長崎同窓会	158名
熊本学友同窓会	101名
大分同窓会	124名
宮崎同窓会	120名
鹿児島同窓会	313名
沖縄同窓会	156名
合計	12,248名

※ 放送大学では、大学の学生及び大学院の学生を募集しています。

知人、友人をご紹介ください。皆さまの再入学、進学も歓迎です。とのこと。